

第22回 初級CAD検定試験実施結果

(基準日：令和4年7月8日)

ま え が き

本協会は、主として工業高校に学ぶ生徒のために、CADに関する知識の習得と技能の向上を願い、平成13年度にCAD検定制度を発足させ、今日に至りました。

以来、毎年1回の検定試験を実施し、今年度で第22回を迎えることになりました。

今回を含めた受検者数は延べ110,757名になり、工業高校をはじめ総合学科を有する高校におけるCAD教育の発展と充実に大きく寄与してきたと確信しています。

これはひとえに、日頃からご指導いただいている関係の皆様方からのご尽力の賜と深く感謝を申し上げます。

さて、今日製図教育はCAD等の普及に伴い、その学習環境も大きく変化し、製図教育の内容については総合的に検討することが求められています。

学習指導要領の製図の目標は、「製図に関する日本工業規格及び工業の各専門分野の製図に関する知識と技術を習得させ、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。」と謳われています。

この目標を踏まえCAD教育は、今後も産業社会の発展に貢献できる内容として、製図本来の目的である加工者のための図面でなくてはならない視点と、技術革新に対応するために必要な基礎・基本の理解と定着を図らねばならない視点の両面で、さらに検討を進める必要があると考えています。

令和4年度の第22回初級CAD検定の実施結果では、コロナ禍ではありましたが、参加校196校、受検者4,923名の参加となり、前年度より620名減少しましたが、その合格率は76.5%となり、0.8ポイントあがりました。

本検定の運営につきましては、CAD教育の今後の重要性を考え、なお一層組織的にまた計画的に取り組むことが大切であると考えています。

令和4年度初級CAD検定試験の問題作成につきましては、本協会内に検定委員会を設置し、これにあたりました。関係委員の方々に衷心より感謝の意を表す次第です。

第22回 初級CAD検定試験 実施結果

【 R4年度 第22回 】

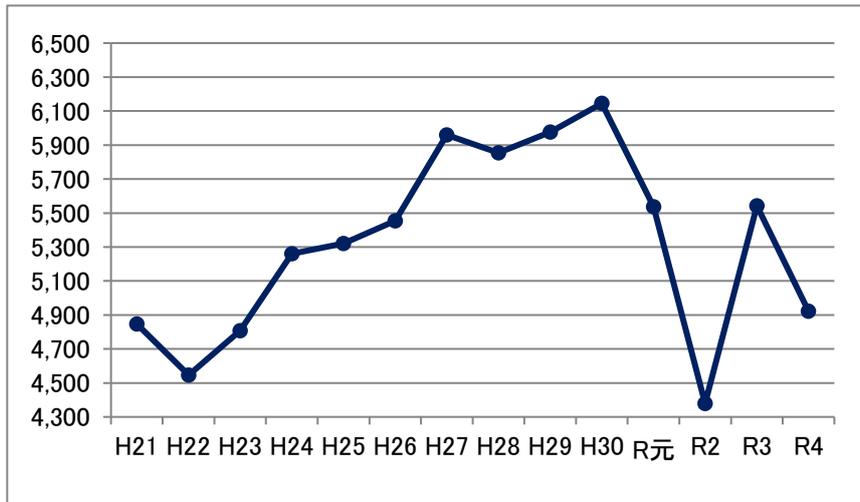
種別	校数	申込者	受検者	合格者	合格率
機械系	149	3,498	3,373	2,494	73.9%
建築系	72	1,591	1,550	1,270	81.9%
	196	5,089	4,923	3,764	76.5%

【 年度別実績 】

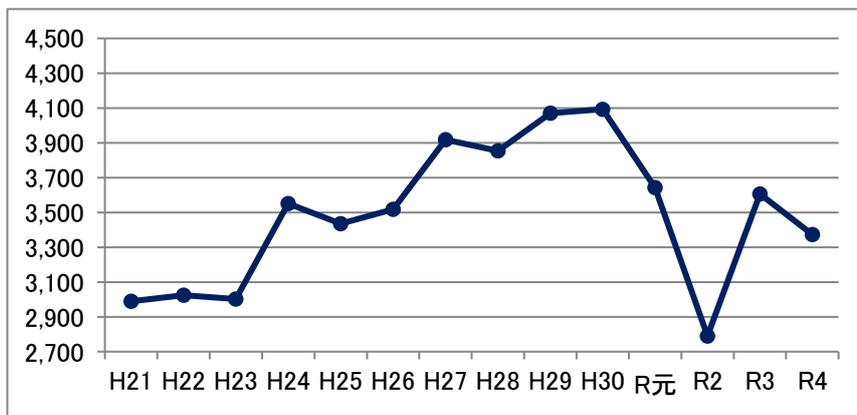
年度・回数	種別	校数	申込者	受検者	合格者	合格率	延べ受検者数
H13～H20年度 第8回まで	-	-	-	36,175	-	-	36,175
H21年度 第9回	機械系	145	3,082	2,990	1,838	61.5%	41,021
	建築系	78	1,892	1,856	1,016	54.7%	
H22年度 第10回	機械系	145	3,088	3,024	2,364	78.2%	45,567
	建築系	82	1,549	1,522	1,074	70.6%	
H23年度 第11回	機械系	150	3,061	3,003	2,106	70.1%	50,375
	建築系	86	1,852	1,805	956	53.0%	
H24年度 第12回	機械系	160	3,589	3,550	2,615	73.7%	55,636
	建築系	86	1,742	1,711	1,177	68.8%	
H25年度 第13回	機械系	154	3,498	3,435	1,869	54.4%	60,956
	建築系	86	1,919	1,885	1,194	63.3%	
H26年度 第14回	機械系	157	3,578	3,517	2,445	69.5%	66,410
	建築系	82	1,983	1,937	1,117	57.7%	
H27年度 第15回	機械系	156	4,025	3,917	2,810	71.7%	72,370
	建築系	87	2,089	2,043	1,309	64.1%	
H28年度 第16回	機械系	149	3,924	3,853	2,738	71.1%	78,224
	建築系	85	2,037	2,001	1,303	65.1%	
H29年度 第17回	機械系	166	4,164	4,070	3,220	79.1%	84,231
	建築系	77	1,933	1,937	1,336	70.1%	
H30年度 第18回	機械系	166	4,211	4,093	3,018	73.7%	90,376
	建築系	86	2,089	2,052	1,413	68.9%	
R元年度 第19回	機械系	161	3,714	3,642	2,789	76.6%	95,912
	建築系	81	1,927	1,894	1,288	68.0%	
R2年度 第20回	機械系	119	2,885	2,790	2,148	77.0%	100,291
	建築系	62	1,605	1,589	1,308	82.3%	
R3年度 第21回	機械系	148	3,658	3,606	2,711	75.2%	105,834
	建築系	75	1,964	1,937	1,484	76.6%	
R4年度 第22回	機械系	149	3,498	3,373	2,494	73.9%	110,757
	建築系	72	1,591	1,550	1,270	81.9%	

受検者数の推移

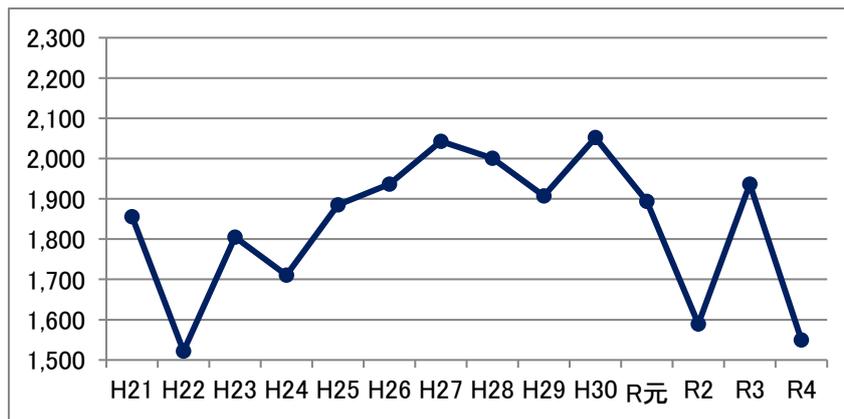
機械系・建築系 合計数



機械系

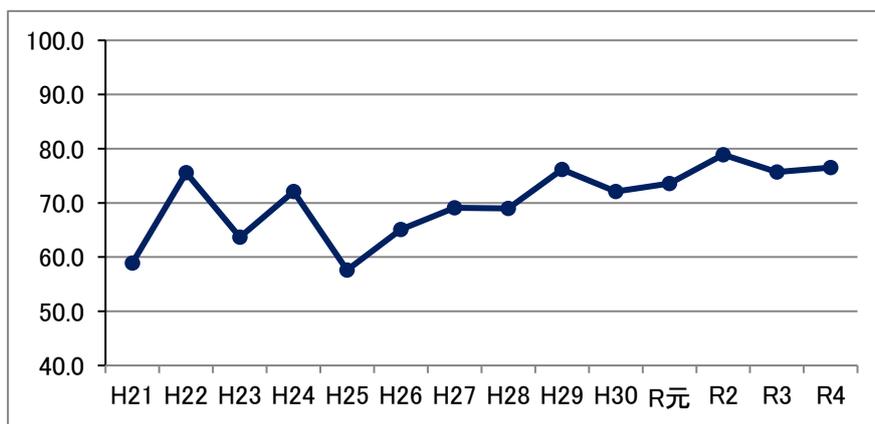


建築系

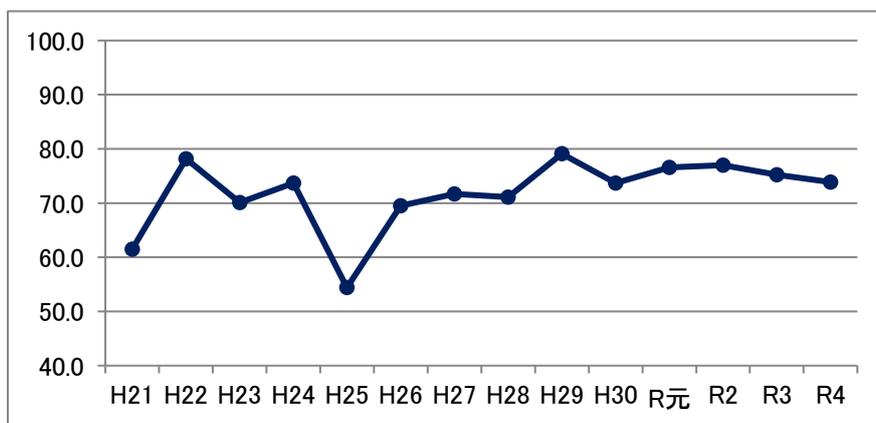


合格率の推移

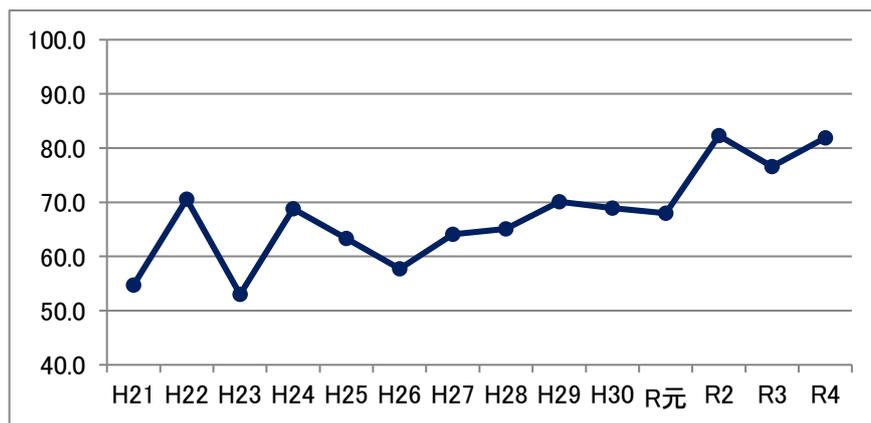
機械系・建築系 合計



機械系



建築系



第22回 初級CAD検定 試験問題・解答

※問題文について以下の訂正があります。

実技試験問題（機械系） 問題文4行目

訂正前 指定された穴の径 → 訂正後 指定された外径

第22回 初級 C A D 検定試験

機械系・建築系 筆記試験問題

注意事項

- 1 試験時間は30分です。
- 2 問題①～③は各科共通問題，④～⑥の専門科目の問題は選択方式です。機械系の問題と建築系の問題の順になっていますので注意してください。
- 3 解答用紙は，後ろにあります。共通問題は白，機械系は水色，建築系は黄色の用紙になっています。該当する部分を切り離して使用してください。

公益社団法人 全国工業高等学校長協会
C A D 検定委員会

1 次の①～⑧の図は操作機能を使って操作したものである。コマンド名を解答群から選び、記号で答えなさい。

操作前	操作後	操作前	操作後
① 		② 	
③ 		④ 	
⑤ 		⑥ 	
⑦ 		⑧ 	

解答群

- | | | | |
|-------------|-----------|---------------|--------|
| (ア) 円形状複写 | (イ) トリミング | (ウ) 三線接円 | (エ) 延長 |
| (オ) スプライン曲線 | (カ) 三点円弧 | (キ) 尺度変更 (拡大) | (ク) 矩形 |
| (ケ) だ円 | (コ) 配列複写 | (サ) 面取り | (シ) 回転 |

2 次を示す文は J I S による C A D 用語の定義である。①～⑤に適する語句を解答群 I から選び、さらに⑥～⑩に該当する用語を解答群 II から選び、記号で答えなさい。

定 義	用 語
形状モデルを ① に変形する操作。	⑥
製品の設計に関する規則又は方法を ② 化して、コンピュータを利用して自動的に行う設計。	⑦
三次元形状の ③ において、明るさ及び色を付与して、現実に近い質感を与えること。	⑧
対象に関して、形状のほか、応用に依存する各種の ④ を含んだモデル。	⑨
⑤ 又は輝度を独立に割り当てることができる、表示面の最小要素。	⑩

(JIS B 3401 : 1993)

解 答 群 I

(ア) 色	(イ) 描画	(ウ) 対称	(エ) 局所的
(オ) 面分	(カ) 軌跡	(キ) データ	(ク) プログラム

解 答 群 II

(a) 自動設計	(b) サーフェスモデル	(c) ピクセル	(d) レンダリング
(e) 局所演算	(f) オブジェクトモデル	(g) ミラー	(h) シェーディング

3 CADシステムの周辺機器・媒体の操作や運用について、次の各問いに答えなさい。

問1 次の文中の①～⑨に当てはまる適切な語句を解答群から選び、記号で答えなさい。

- 1 コンピュータで処理された結果や画像などを画面上に表示する装置を（①）といい、紙面などに出力する装置を（②）という。
- 2 図形の座標値や命令などを入力するのに使用される機器を（③）といい、小型のものはタブレットと呼ばれる。
- 3 学校や会社の中などの狭い範囲で接続するネットワークを（④）という。また、全国規模など広い範囲で運用するネットワークを（⑤）という。
- 4 入力装置には、文字や数字、記号などを入力するための（⑥）、カーソルを移動させメニューから命令を選択したり、処理や線の位置などを指示する（⑦）がある。
- 5 座標位置の指示方法には、原点を基準として位置を示す（⑧）と、直前の点を仮の原点として位置を示す（⑨）がある。

解 答 群

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| (ア) マウス | (イ) ディスプレイ | (ウ) プロッタ |
| (エ) キーボード | (オ) プリンタ | (カ) 絶対座標 |
| (キ) デジタイザ | (ク) USBメモリ | (ケ) 相対座標 |
| (コ) MACアドレス | (サ) WAN | (シ) LAN |

問2 コンピュータシステムを運用する方法として、適切でないものを選び、記号で答えなさい。

- (ア) 万が一に備え、重要なデータは定期的にバックアップを取っておく。
- (イ) コンピュータウイルスからの感染を防止するため、ウイルスチェックをした。
- (ウ) データを大勢の人で管理できるよう、パスワードを公開することにした。
- (エ) 著作権者の承諾なしにソフトウェアを複製すると、著作権の侵害として罰せられる。

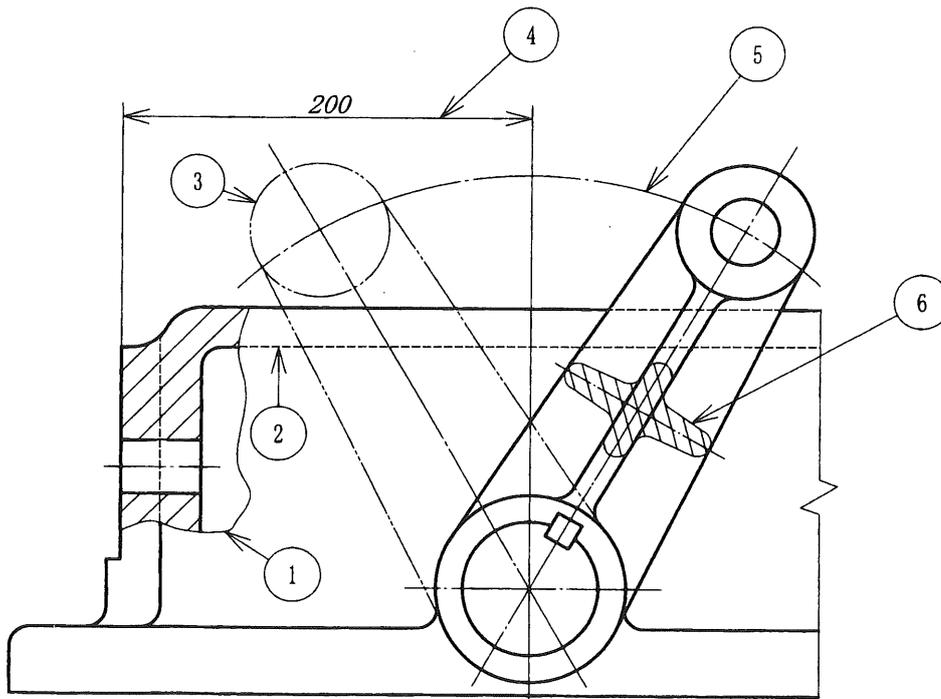
4 「製図 — 寸法記入法 — 一般原則」と「製図 — 図形の表し方の原則」について、次の各問いに答えなさい。

問1 次の意味を表す寸法補助記号を解答群から選び、答えなさい。

意味	記号
ざぐり	①
コントロール半径	②
厚さ	③
円弧の長さ	④
半径	⑤

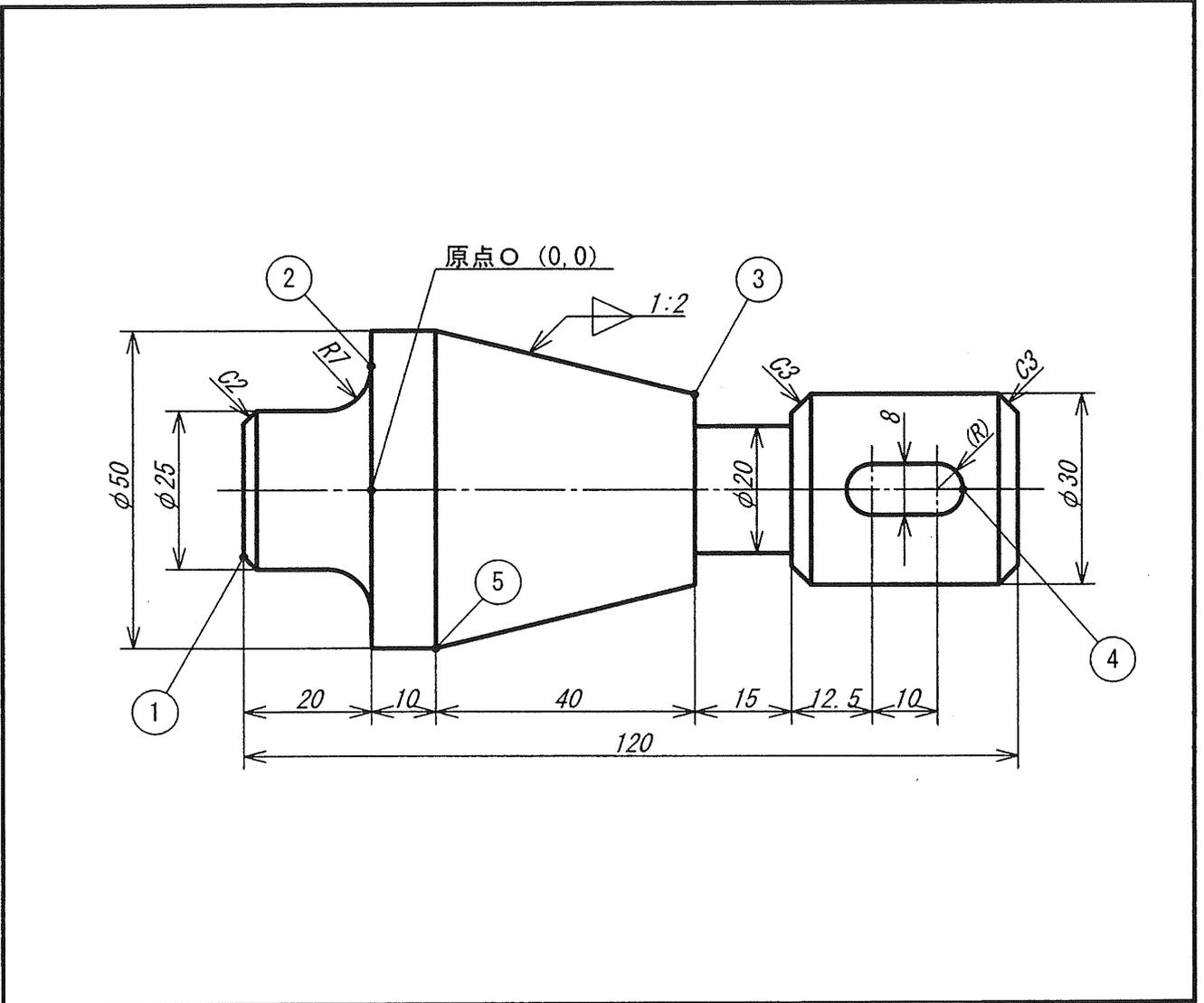
解答群
□
R
↓
φ
CR
(
t
⌊

問2 次の図の①～⑥に対する適切な語句を解答群から選び、記号で答えなさい。

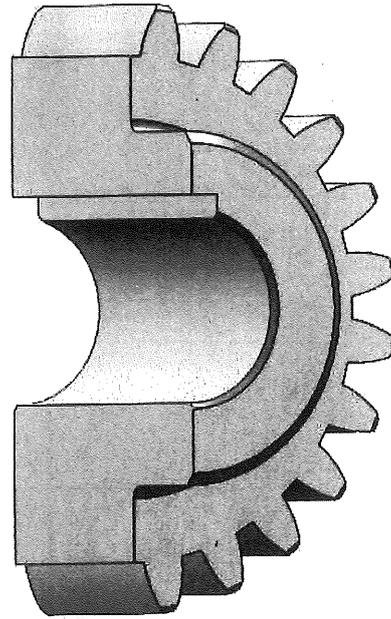


解答群			
(ア) 想像線	(イ) 中心線	(ウ) 寸法線	(エ) 外形線
(オ) かくれ線	(カ) 破断線	(キ) 回転断面線	(ク) ハッチング

- 5 次の図において、原点Oの座標を(0, 0)とするとき、①～⑤の各点の座標を求めなさい。
ただし、横軸をX軸、縦軸をY軸とする。



- 6 右の図は、平歯車を全断面図示したものである。歯車の図示方法に準じて解答用紙に投影図を完成させなさい。作図に当たっては定規、コンパス、テンプレートなどを利用して描きなさい。
 ただし、解答用紙にあらかじめ描かれた線をそのまま「細い一点鎖線」、「細い実線」として用いてもよい。



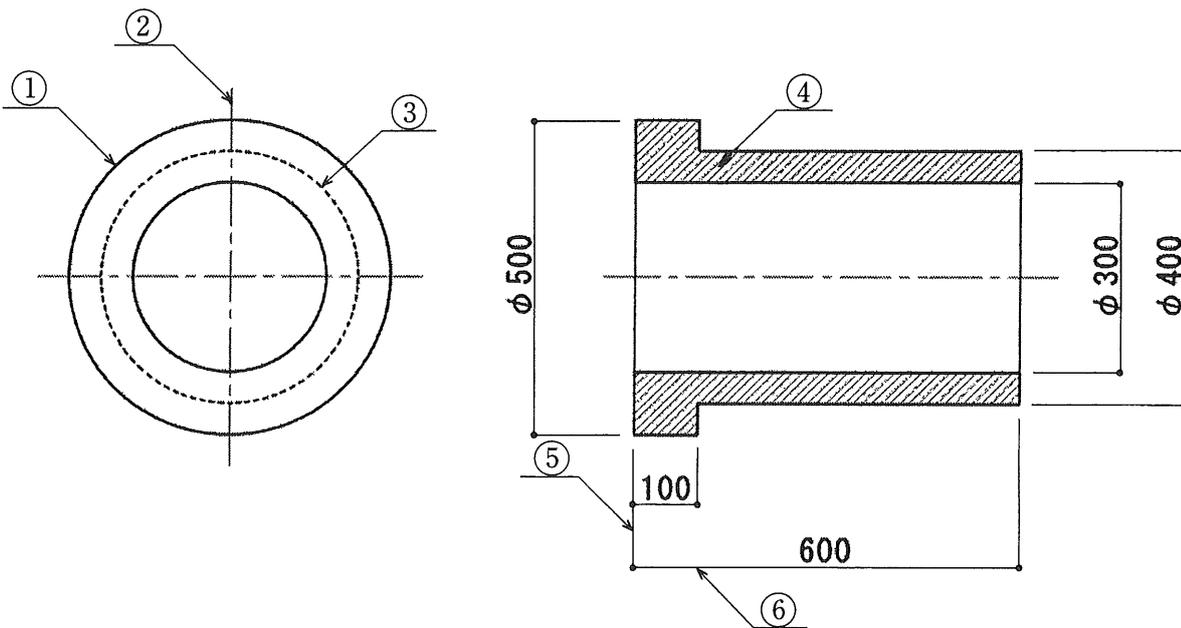
4 「製図 — 寸法記入法 — 一般原則」と「製図 — 図形の表し方の原則」について、次の各問いに答えなさい。

問1 次の意味を表す寸法補助記号を解答群から選び、答えなさい。

意味	記号
球の直径	①
部材の間隔	②
直径	③
円弧の長さ	④
板材の厚さ	⑤

解答群
@
t
SR
（
φ
C
Sφ

問2 次の図の①～⑥に対する適切な語句を解答群から選び、記号で答えなさい。



解答群			
(ア) 想像線	(イ) ハッチング	(ウ) 破断線	(エ) 中心線
(オ) かくれ線	(カ) 寸法線	(キ) 外形線	(ク) 寸法補助線

5 次の各問いに答えなさい。

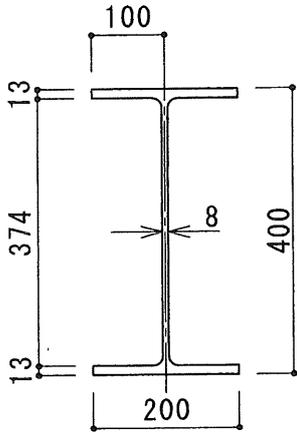
問1 次の部材表記に関する記述について、文中の空欄 (①) ~ (⑮) に適切な語句や数値を解答群から選び、記号で答えなさい。

- 1 木材の表示について、胴縁15×45@455とは、「胴縁」という部材の断面の横幅が (①) mmで、縦方向の高さが (②) mmであり、(③) mm間隔に部材が配置されることをいう。
- 2 鉄筋の表示について、8-D13とは、(④) の寸法を整数に四捨五入した値が13mmの (⑤) を (⑥) 本用いることを示す。なお、D13とは、鉄筋の (⑦) であることを示す。
- 3 鉄筋の配筋リストによる図面表示について、明記しやすく読みやすいように部材略符号として、「nCm」のnは (⑧)、Cは (⑨)、mは (⑩) を表す。また、「nGm」のように表されるものは、(⑪) である。
- 4 鋼材の形状と表示について、L-100×75×7とは、(⑫) を示し、部材の断面の長辺の長さが (⑬) mm、短辺の長さが (⑭) mmであり、同時に部材の厚さが (⑮) mmであることを示している。

解 答 群

- | | | | | |
|---------|----------|----------|----------|------------|
| (ア) 7 | (イ) 8 | (ウ) 15 | (エ) 45 | (オ) 75 |
| (カ) 100 | (キ) 455 | (ク) 柱 | (ケ) 小梁 | (コ) 大梁 |
| (サ) 半径 | (シ) 直径 | (ス) 本数 | (セ) 階数 | (ソ) 強度 |
| (タ) 梁番号 | (チ) 柱番号 | (ツ) 呼び方 | (テ) 呼び名 | (ト) 不等辺山形鋼 |
| (ナ) 丸鋼 | (ニ) 異形鉄筋 | (ヌ) 公称直径 | (ネ) 軽溝形鋼 | (ノ) リップ溝形鋼 |

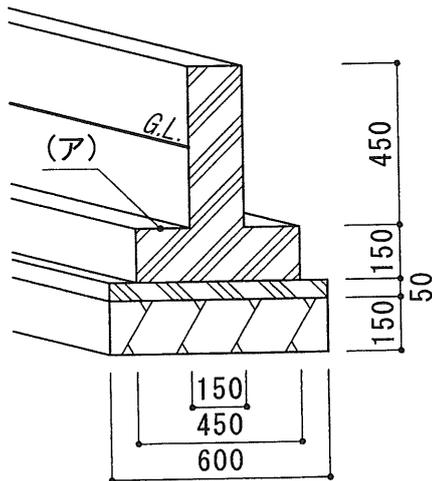
問2 次の図のような山留め主材のH形鋼の断面寸法の表示として、適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。



解答群

- (ア) H-200×400×8×13
- (イ) H-374×200×13×8
- (ウ) H-400×200×8×13
- (エ) H-400×100×13×8

問3 次の図のような木造建築物の基礎断面図に関する記述について、文中の空欄 (①) ~ (③) に適切な語句や数値を答えなさい。

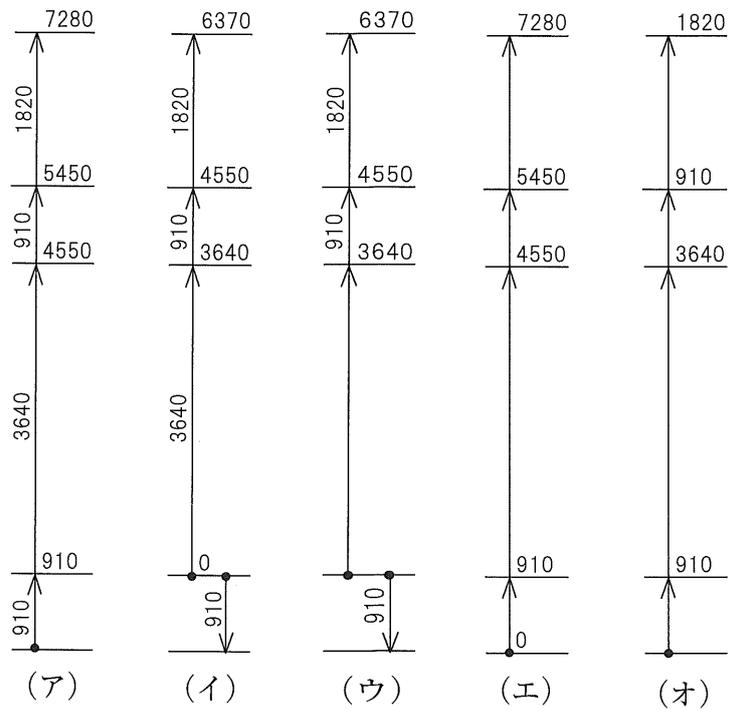
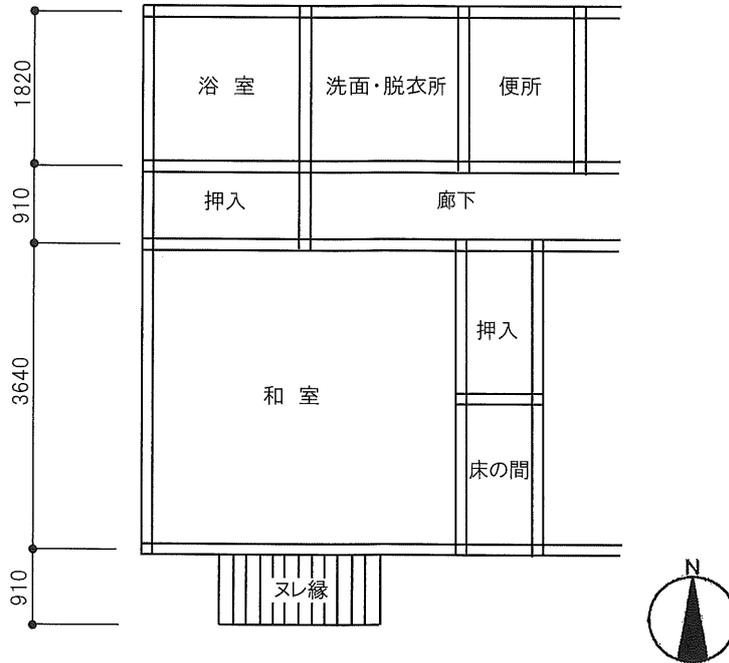


- 1 この基礎の (ア) の部分は、(①) を示している。
- 2 この基礎は、1か所の施工長さが8mであり、その施工箇所は6か所ある。このとき、基礎工事に要するコンクリートの量は、(②) m^3 である。ただし、換気口などによる欠損箇所や鉄筋、捨てコンクリートなどは考慮しない。
- 3 1台のコンクリートミキサー (7 t) 車に $4m^3$ のコンクリートを積み込むと、この基礎工事に必要なコンクリートミキサー車は、(③) 台である。

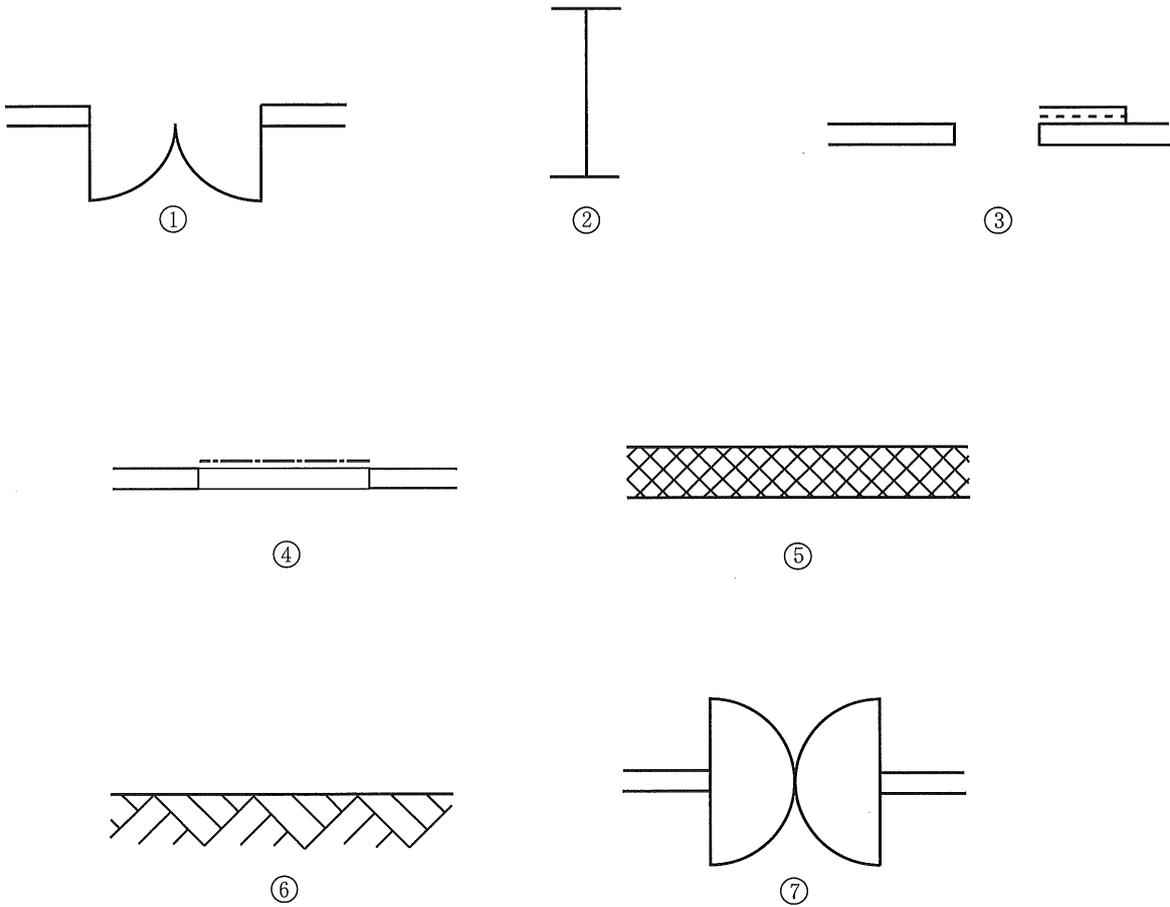
*コンクリートミキサー車の正式名称は、「トラックアジテータ」もしくは「アジテータトラック」である。

6 建築製図の規則について、次の各問いに答えなさい。

問1 次の図のような形状の西側部分の組立基準線を用いて位置を示すとき、(ア)～(オ)のうち、適切なものを選び、記号で答えなさい。



問2 次の平面記号および材料構造記号の表示①～⑦について、適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。



解答群

- | | | | |
|--------------|-----------|------------|----------|
| (ア) シャッター付き窓 | (イ) 出入口一般 | (ウ) 地盤 | (エ) 両開き扉 |
| (オ) 雨戸 | (カ) 網戸 | (キ) コンクリート | (ク) 自由扉 |
| (ケ) 保温吸音材 | (コ) 鉄骨 | (サ) 格子付き窓 | (シ) 化粧材 |

第22回 初級CAD検定試験 筆記試験解答用紙 (共通)

1

①		②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	

2

①		②		③		④		⑤	
⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	

3

問1

①		②		③		④		⑤	
⑥		⑦		⑧		⑨			

問2

--

受 検 番 号	1	2	3	小 計

第22回 初級CAD検定試験 筆記試験解答用紙 (機械系)

4

問1

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

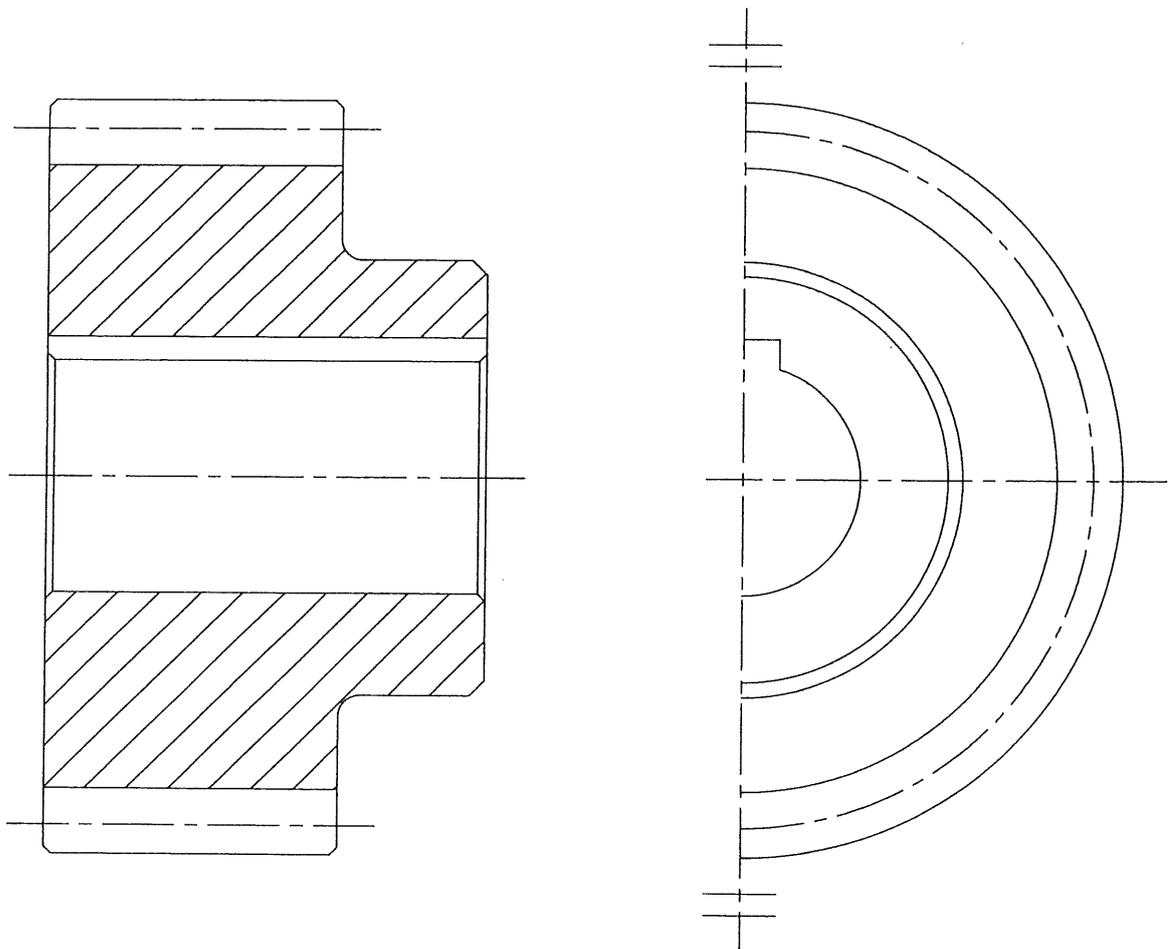
問2

①		②		③		④		⑤		⑥	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

5

①	(,)	②	(,)	③	(,)
④	(,)	⑤	(,)		

6



受 検 番 号	4	5	6	小 計	合 計

第22回 初級CAD検定試験 筆記試験解答用紙 (建築系)

4

問1

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問2

①		②		③		④		⑤		⑥	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

5

問1

①		②		③		④		⑤	
⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	
⑪		⑫		⑬		⑭		⑮	

問2

--

問3

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

6

問1

--

問2

①		②		③		④		⑤	
⑥		⑦							

受 検 番 号	4	5	6	小 計	合 計

第22回 初級CAD検定試験 筆記試験解答 (共通)

1 【1点×8】

①	ア	②	コ	③	カ	④	キ
⑤	ケ	⑥	シ	⑦	ウ	⑧	オ

2 【1点×10】

①	エ	②	ク	③	イ	④	キ	⑤	ア
⑥	e	⑦	a	⑧	d	⑨	f	⑩	c

3

問1 【1点×9】

①	イ	②	オ	③	キ	④	シ	⑤	サ
⑥	エ	⑦	ア	⑧	カ	⑨	ケ		

問2 【1点×1】

ウ

受 検 番 号	1	2	3	小 計

第22回 初級CAD検定試験 筆記試験解答 (機械系)

4

問1 【4点×5】

①	└	②	CR	③	t	④	—	⑤	R
---	---	---	----	---	---	---	---	---	---

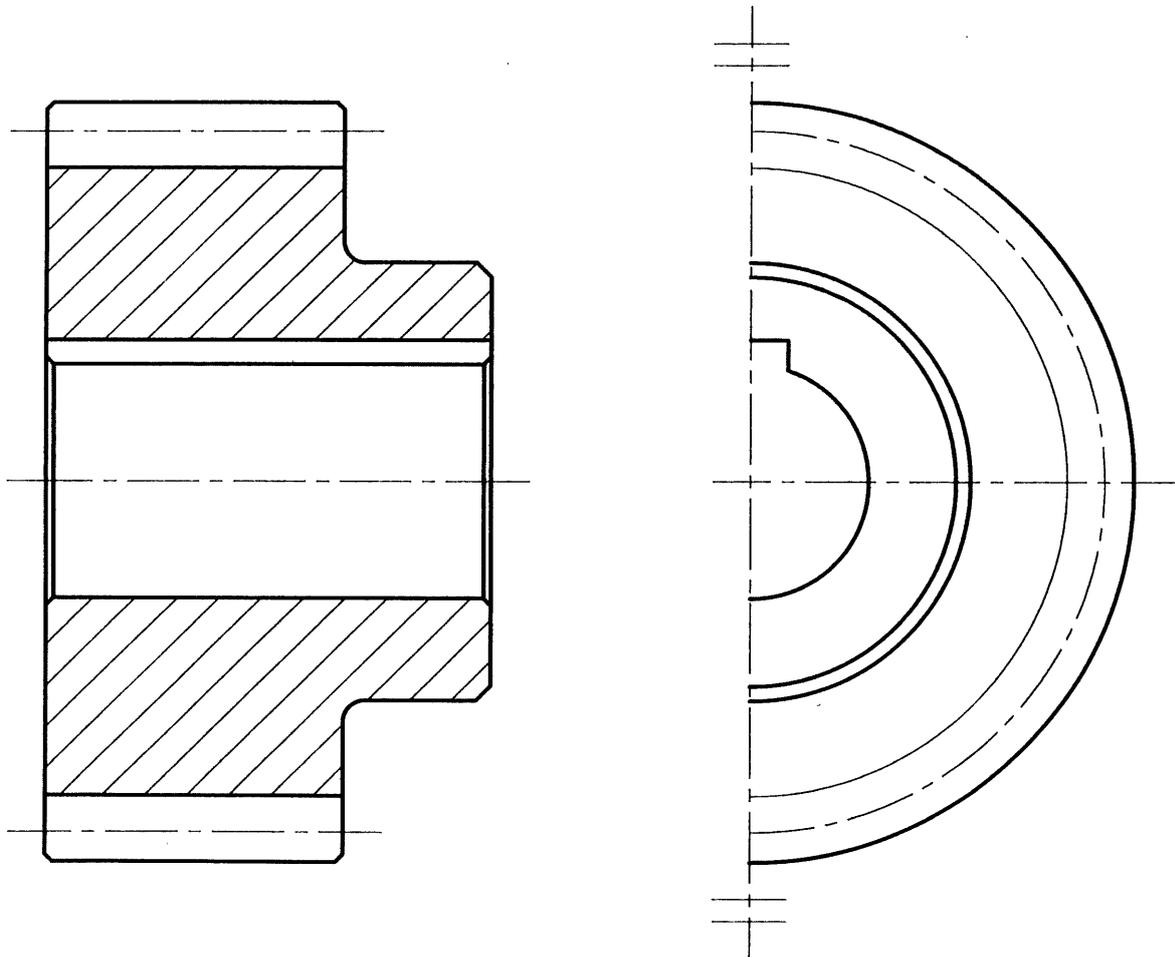
問2 【2点×6】

①	カ	②	才	③	ア	④	ウ	⑤	イ	⑥	キ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5 【4点×5】

①	(-20, -10.5)	②	(0, 19.5)	③	(50, 15)
④	(91.5, 0)	⑤	(10, -25)		

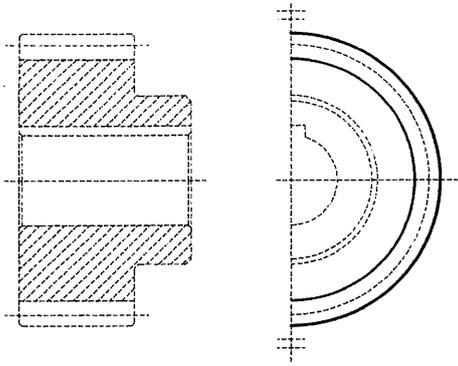
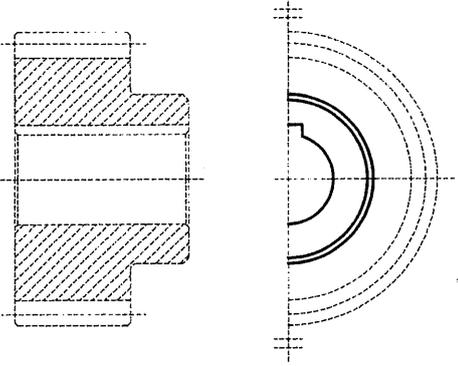
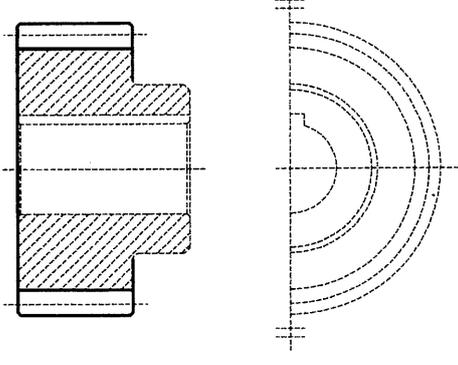
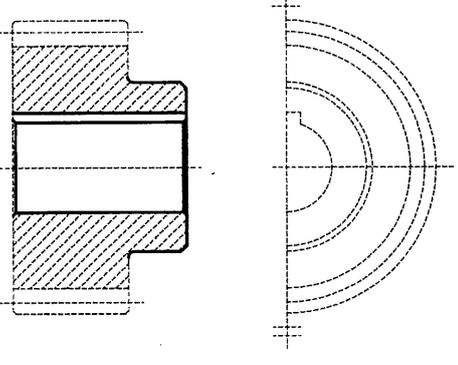
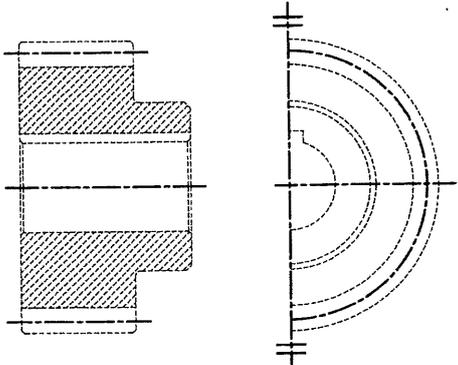
6 【4点×5】



受検番号	4	5	6	小計	合計

第22回 初級CAD検定試験 筆記試験採点基準 (機械系)

以下の作図線が、示されているときには指定された点数を加点する。

	
<p>Fig. 1 4点</p>	<p>Fig. 2 4点</p>
	
<p>Fig. 3 4点</p>	<p>Fig. 4 4点</p>
	
<p>Fig. 5 4点</p>	

第22回 初級CAD検定試験 筆記試験解答 (建築系)

4

問1 【4点×5】

①	Sφ	②	@	③	φ	④	—	⑤	t
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

問2 【2点×6】

①	キ	②	エ	③	オ	④	イ	⑤	ク	⑥	カ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5

問1 【1点×15】

①	ウ	②	エ	③	キ	④	ヌ	⑤	ニ
⑥	イ	⑦	テ	⑧	セ	⑨	ク	⑩	チ
⑪	コ	⑫	ト	⑬	カ	⑭	オ	⑮	ア

問2 【2点×1】

ウ

問3 【2点×3】

①	フーチング	②	6.48	③	2
---	-------	---	------	---	---

※「連続フーチング」でも可とする

6

問1 【3点×1】

ウ

問2 【2点×7】

①	エ	②	コ	③	オ	④	ア	⑤	ケ	
⑥	ウ	⑦	ク							

受 検 番 号	4	5	6	小 計	合 計

第22回 初級 C A D 検定試験

機械系 実技試験問題

注意事項

- 1 試験時間 60分とする。(図面の出力時間は含まない)
- 2 提出方法 所定の用紙に印刷して提出しなさい。
- 3 その他 データの記録・保存等については、各試験場の指示に従うこと。

公益社団法人 全国工業高等学校長協会
C A D 検定委員会

問 題

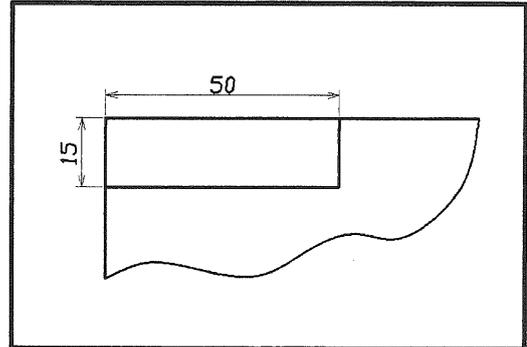
問題用紙に示されている品物は、第三角法で描かれている。

品物の製作図を製図要領に従いCADを用いて作図し、完成図を所定の方法で提出しなさい。

ただし、寸法および注記などの記入については、指定された穴の径 $\phi 36$ のみを記入し、他のものは記入しなくてもよい。

製 図 要 領

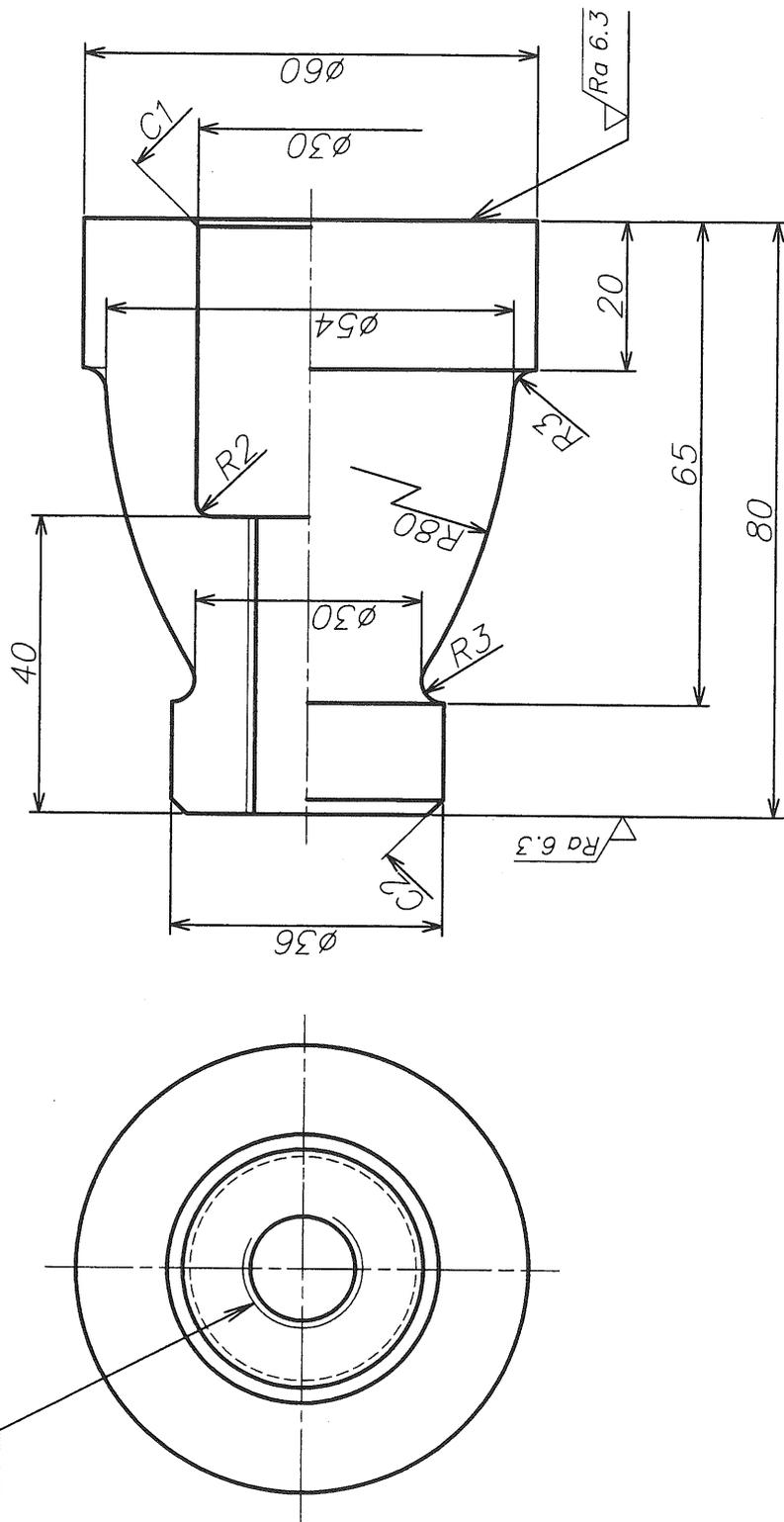
- 1 製図にあたっては、関係するJISの製図法に従って描きなさい。
- 2 用紙の大きさはA4判として、横置きとする。
- 3 尺度は、1 : 1とする。
- 4 表題欄および部品欄はなくてもよい。
- 5 輪郭線を描き、左上の内側に、たて15mm、よこ50mmの受検番号を記入する欄を設け、そこに受検番号を記入しなさい。



受検番号

$\sqrt{Ra\ 50}$ ($\sqrt{Ra\ 6.3}$)

M16/φ14



注. 個々に指示のない公差はJIS B 0419-ckとする。

第22回 初級CAD検定試験 実技試験採点用紙 (機械系)

- ・ 100点を満点とし、70点以上を合格とする。
- ・ 以下の採点項目について該当するものは、指定された点数を減点する。
- ・ 採点上で問題が生じた場合、採点委員の判断により対応する。

項目	減点の内容	点数
1 図法	第三角法で描かれていない	減点10点
2 図の配置	正しい位置に図が描かれていない	減点10点
3 寸法	指定された寸法 $\phi 36$ が記入されていない	減点 5点
4 寸法記入法	寸法記入法に準じて記入されていない	減点 5点
5 線種および線の太さ	線の用法や種類が間違っている	減点10点
6 図形の正しさ	Fig. 1 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 2 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 3 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 4 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 5 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 6 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 7 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 8 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 9 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 10 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 11 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 12 が未完成または間違っている	減点 5点
減点の合計		
得点		
受験番号		合否判定
		合 否

判定結果を、合・否いずれかに印を付けてください。

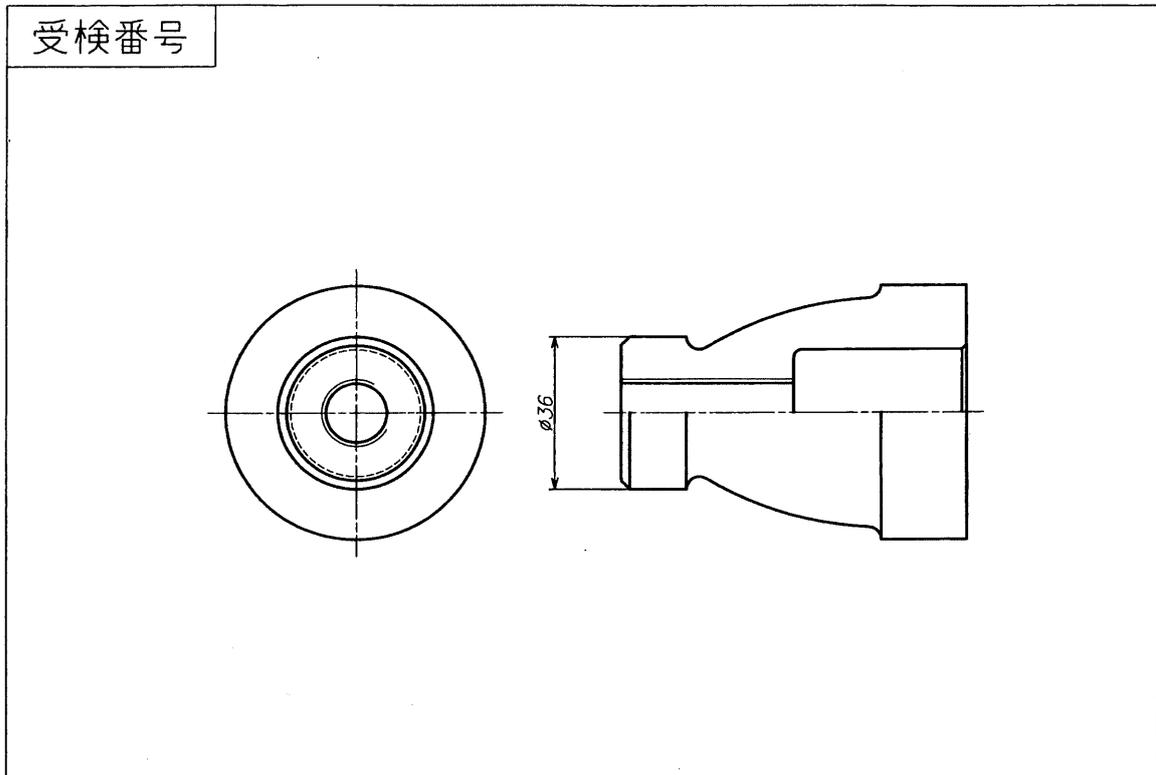
第22回 初級CAD検定試験 実技試験採点基準（機械系） No.1

1 図法 【減点10点】

第三角法以外の図法で描かれているときには、指定された点数を減点する。

2 図の配置 【減点10点】

投影図の配置が正しくないときには、指定された点数を減点する。



3 寸法 【減点 5点】

問題中で指示された寸法 $\phi 36$ が記入されていないものに対し、指定された点数を減点する。

4 寸法記入法【減点 5点】

関係するJISに従った寸法記入法以外で、寸法線、寸法補助線、端末記号が記入されている、あるいは未記入の場合に指定された点数を減点する。

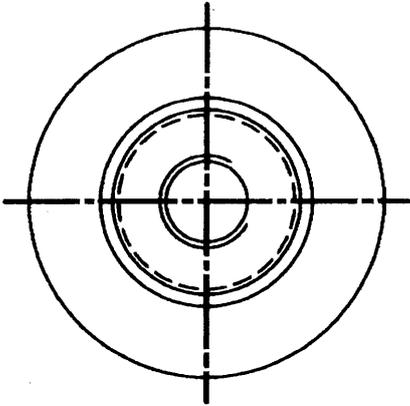
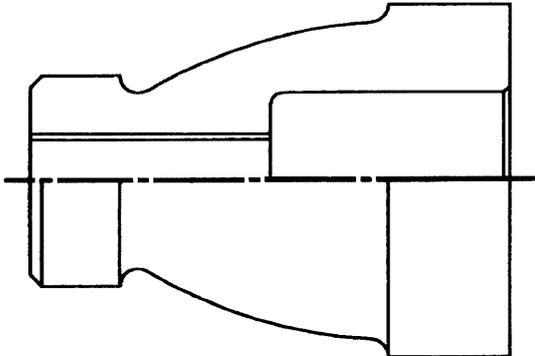
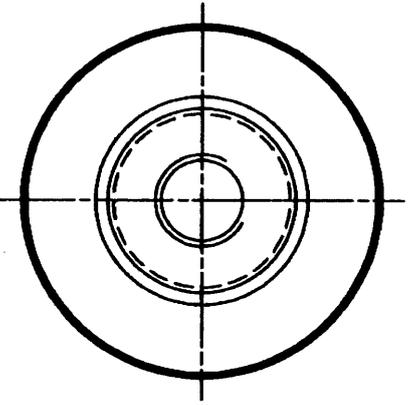
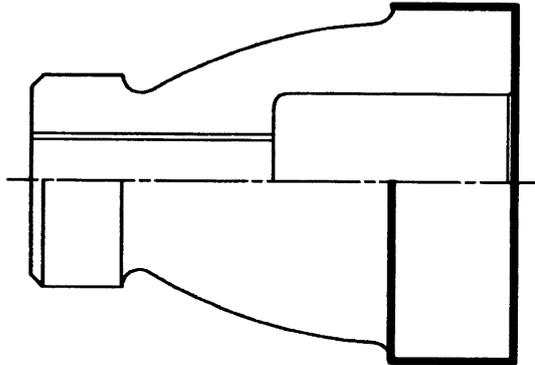
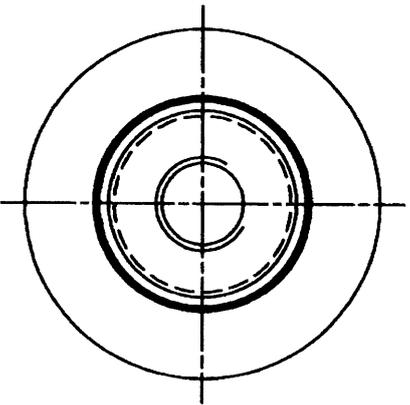
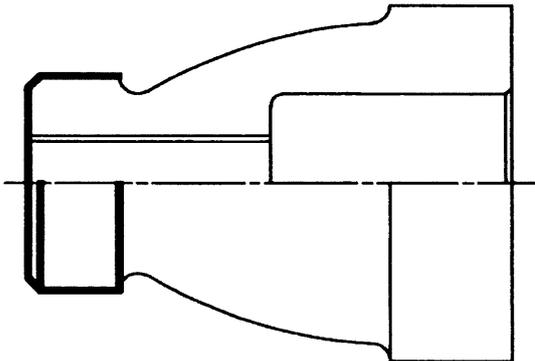
5 線種および線の太さ 【減点10点】

関係するJISに従った、線の用法や種類および太さによって作図されていないものに対して指定された点数を減点する。

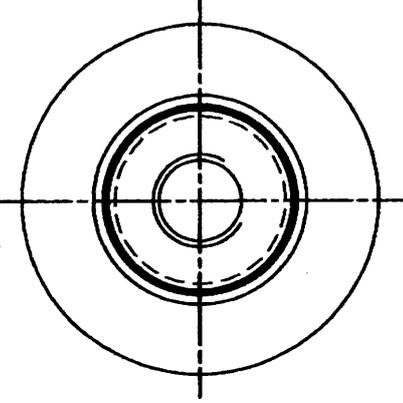
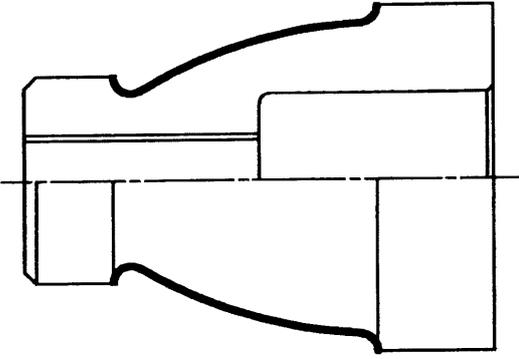
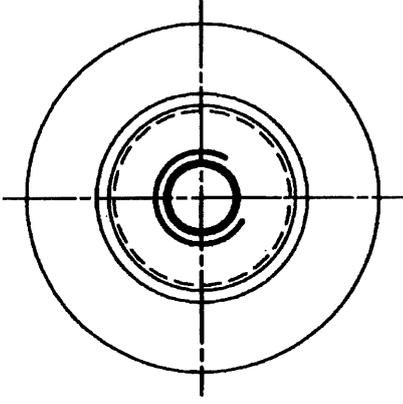
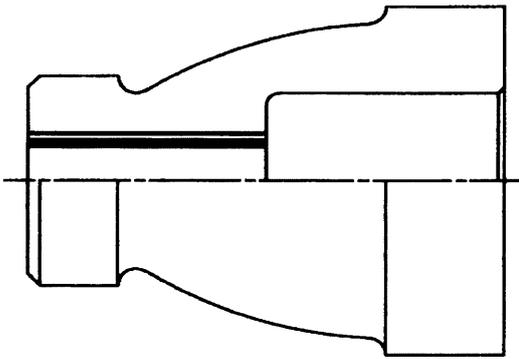
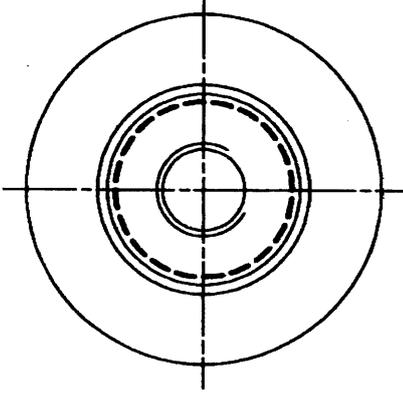
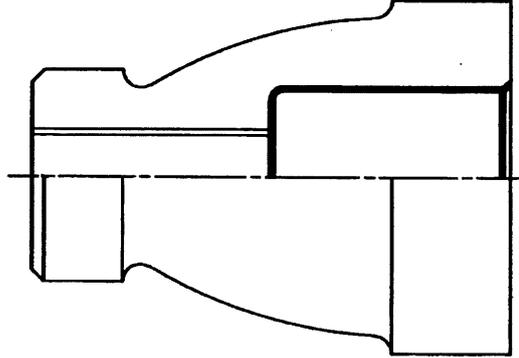
第22回 初級CAD検定試験 実技試験採点基準（機械系）No.2

6 図形の正しさ 【減点60点】

次に示す作図線が正しい寸法で描かれていない、またはずれているときには、指定された点数を減点する。

左側面図	正面図
	
Fig. 1 5点	Fig. 2 5点
	
Fig. 3 5点	Fig. 4 5点
	
Fig. 5 5点	Fig. 6 5点

第22回 初級CAD検定試験 実技試験採点基準 (機械系) No.3

左側面図	正面図
	
<p>Fig. 7 5点</p>	<p>Fig. 8 5点</p>
	
<p>Fig. 9 5点</p>	<p>Fig. 10 5点</p>
	
<p>Fig. 11 5点</p>	<p>Fig. 12 5点</p>

第22回 初級CAD検定試験

建築系 実技試験問題

注意事項

- 1 試験時間 60分とする。(図面の出力時間は含まない)
- 2 提出方法 所定の用紙に印刷して提出しなさい。
- 3 その他 データの記録・保存等については、各試験場の指示に従うこと。

公益社団法人 全国工業高等学校長協会
CAD検定委員会

問 題

問題用紙に示されている木造平屋建て住宅の略平面図について、製図要領に従いCADを用いて作図し、完成図を所定の方法で提出しなさい。

製 図 要 領

- 1 製図にあたっては、関係するJISの製図法に従って描きなさい。
- 2 用紙の大きさはA4判として、横置きとする。
- 3 尺度は、1：100とする。製図表現は尺度に適した表現とする。
- 4 壁、柱の表現は、柱を表現する複線式とする。柱は、構造的に必要な位置に正しく配置する。
- 5 床仕上げ表現は、和室・廊下・ポーチ・テラスに適切な大きさとで作図する。
- 6 主要な壁位置が表示されるよう、寸法線を四面に渡り表現しなさい。
- 7 受検番号・図面タイトル・尺度・方位マーク・入口マークなど、必要な事項を記入しなさい。

910 1820 910 1820 910 910 910 910 910 910 910 455 1820 455



910 1820 910 1820 910 910 910 910 910 1820 910

1500 910 1820 910 910 1820 910 1500



910 1820 910 1820 910 910 910 910 910 1820 910 1500

略平面図 1 : 100

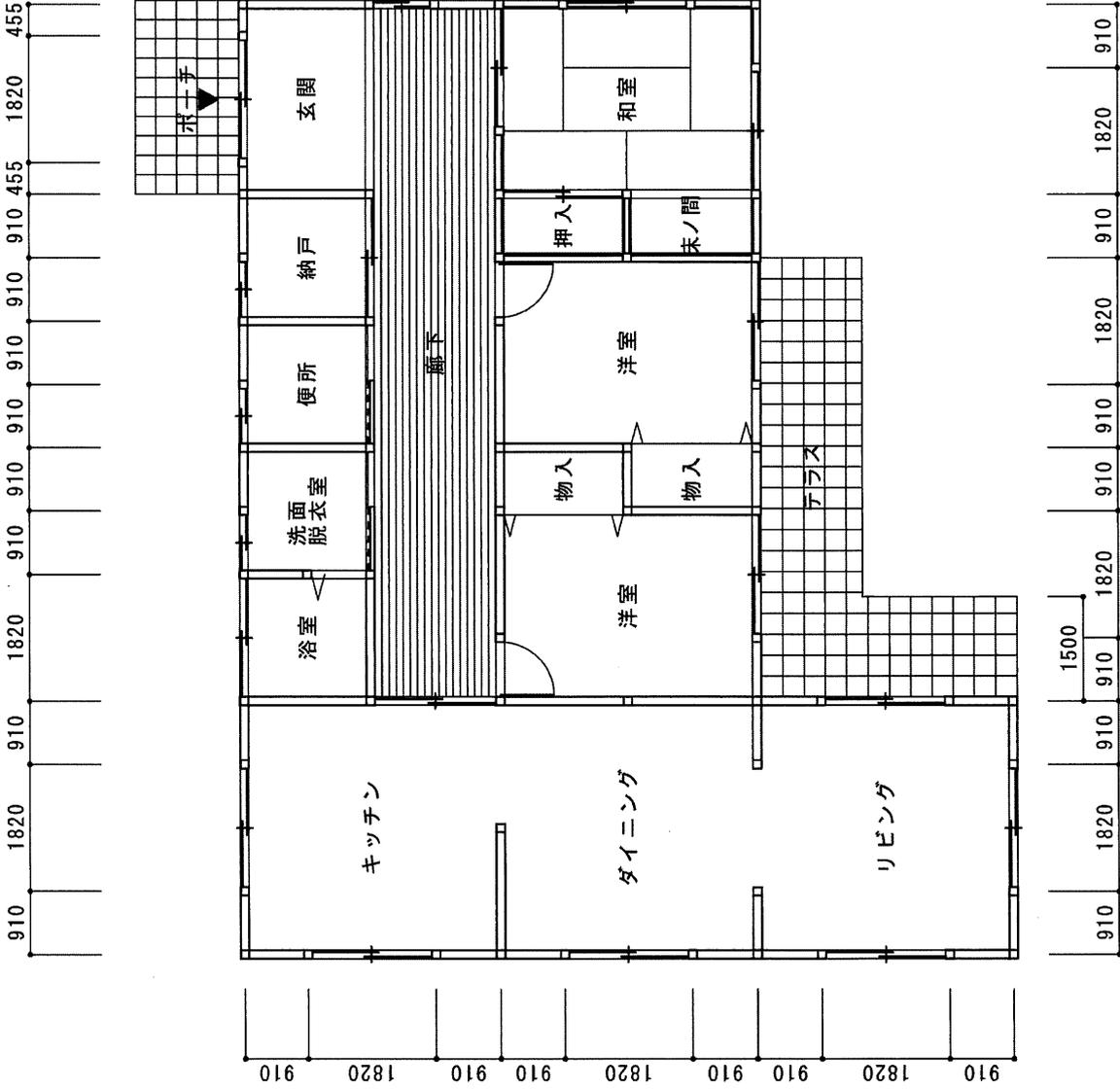
受検番号

第22回 初級CAD検定試験 実技試験採点用紙（建築系）

- ・100点を満点とし、70点以上を合格とする。
- ・未完成図面（含・過半が未記入のもの）は、失格扱いで0点とする。
- ・補足事項の範囲を超えるものや、規定の尺度に対して不適切なサイズのもの、形の整ってないもの、不均一なもの等は、一カ所に-3点とする。
- ・一部の未記入や明らかな間違いは、一カ所に-5点（一部-10点）とする。
- ・採点で問題が生じた場合は、採点委員の判断により対応する。

	未記入・誤記 -5点	不定形・稚拙 -3点	備考・補足
1 製図全般			
受検番号			* 記入漏れは-10点
図面位置（位置・向き）	-10*		文字高は5mm以上10mm以内。 用紙は原則横使い、5cm以上ズレは誤記扱い。
図面名			文字高は5mm以上10mm以内。
尺度			文字高は5mm以上10mm以内。
寸法・寸法線	-10*		文字高は3mm以上10mm以内。
方位マーク			直径1.5cm程度。
線（含む端部納まり）			端部離れ0.3mm以上は稚拙、1mm以上誤記扱い。
線種・太さ・傾き			課題図以外の線種は誤記扱い。
文字・数字（除く：図面名・室名）			一般文字高は3mm～10mm以内、誤記は-3点。
過剰な表現			余分な事項の記入など。
小 計			
2 平面図の基本部分			
大壁の表記			極太線・太線の複線。細線は誤記。
真壁の表記			注) 極太線・太線の複線又は単線。細線は誤記。
併用壁の表記			極太線・太線の複線。細線は誤記。
壁と開口部（窓・ドア）位置			3mm以上のズレは誤記扱い。
柱（複線式）			柱位置のズレ・位置不適切も-5点。
入り口の表記（三角形）			3mm～10mm程度。
室名			文字高は3mm以上5mm以内。
過剰な表現			余分な事項の記入など。
小 計			注) 学校の指導による。
3 平面図の図記号等			
引違い戸（窓）			重なり部分0.5mm～2mm以内。
ドア（開き勝手）			開き方向の違いは誤記扱い。
廊下（縁甲板）の目地			線の間隔1mm～3mm以内で床仕上げに応じる。
畳の目地			細線。1mm以上のズレは誤記扱い。
ポーチ、テラスの目地			3mm以上のズレは誤記扱い。
過剰な表現			余分な事項の記入など。
小 計			
減点の合計			得 点
受検番号	合否判定		合 否

判定結果を、合・否いずれかに印を付けてください。



略平面図 1 : 100

受検番号 解答例